



ZENFUREN

2014年10月3・4日

号外

全国国立大学附属学校連盟
全国国立大学附属学校 PTA 連合会
〒105-0001 港区虎ノ門 1-2-29
虎ノ門産業ビル 8F
TEL : 03-3591-2091
FAX : 03-3591-2092

全附P連PTA研修会 第5回全国大会

幼稚園部会 PTA 会長会

少子化の影響で、附属幼稚園も定員割れの問題が顕著になっています。この状況を打開するために、各校にアンケート調査を実施。延長保育や3年保育等で成果を上げている園。その魅力作りを実感。



現在、少子化等の影響で幼稚園の経営難が顕著になっています。附属幼稚園においても、入園希望者の定員割れをはじめとする課題が各地から報告されています。現在の実態を把握し、また問題認識を図ったうえ解決の道を協議する場として、今回の「幼稚園部会 PTA 会長会」が開催される運びとなりました。

井上委員長の司会進行で始まった幼稚園部会が、全国 51 校の附属幼稚園の PTA 会長宛の事前アンケートの集計結果をもとに進められました。質問項目は 10 項目ございましたが、何点か抜粋させていただきました。

※A (回答) は割合の一番高いものを記載。

- Q1: 附属幼稚園入園希望の理由。 A: 質の高い保育・恵まれた環境。 (28%)
- Q2: 入園に関する課題。 A: 入園志願者の減少。定員割れ。 (20%)
- Q3: Q2 における主な要因。 A: 少子化や女性の就業率増加。 (29%)
- Q4: 降園後、園児預かりの有無。 A: 取り組んでいない。 (77%)
- Q5: 保育時間見直しの有無。 A: 取り組んでいない。 (60%)

これらのアンケート結果を受け、保護者の方々の口コミの重要性・送り迎えの時間の幅を再考し、先生方とともに保護者の方々の中でも、附属幼稚園の魅力共有することが必要であると、鎌田副会長からお話をい

ただきました。

上記の問題解決の事例を、以下に挙げさせていただきました。

事例① 鳥取大学附属幼稚園では通常の降園後、午後 5 時 30 分まで預かり保育をされています。利用人数は 1 日平均 5 人でした。

今後の検討課題として、預かり保育時間の延長・早朝の受入・長期休業中の実施が挙げられていました。

事例② 愛媛大学教育学部附属幼稚園では、二歳の高い 3 年保育の定員増を図られていました。

小学校・中学校と違い、全国の附属幼稚園では定員割れの懸念が進んでいます。様々な解決策が挙げられている中で、5 歳児 (年長) からの義務教育化という案も出ています。しかしながらその場合、幼・小の複数免許制の問題もあることが実情です。

岡山全附 P 連会長は以下のようにおっしゃられています。

「原点に戻ることが大事なのではないか。」

「自分たちの園の魅力とは何か。」

「本当に園が魅力的な場所なら、保育時間に関係なく入園希望者が集まるのではないか。」これからますます深刻になるであろう少子化問題。園や先生方だけではなく、PTA のリーダー、そして保護者の皆さまお一人お一人がこの問題を真摯に受けとめ、皆で解決策を見出していくことができればと考えます。

「全ては子どもたちのために。」



長崎大学教育学部附属小学校
PTA 党 貴子 取材